



申12号・申13号「2025年度賃金引上げ等」・「2025年度夏季手当等」に関する申し入れ

団体交渉で会社姿勢が明らかに!!

本部は職場の努力で積み上げた業績動向や厳しい労働実感・生活実感を最大限訴える!!
しかし、会社は「社員に感謝」としつつ、職場の努力に寄り添わない姿勢に終始!!

◆交渉での会社の主な主張

(第1回交渉での内容も含む)

■経営状況について

営業利益はコロナ前比95%だが、営業利益は76%だ
足元の状況は好調(年末年始や2月の実績はコロナ前超え)だが、平日の新幹線利用等、さらなる増収努力が必要。業績は重要な要素だが、それだけで判断しない
インバウンドは過去最高だった昨年を上回るが、さらに150億円の上積みが必要
修繕費・減価償却費等、営業費用が増加傾向。より一層の増収とコストダウンが必要



■中長期の見通しについて

運賃改定により、お客様へご負担をお願いする事を受け止めなければならない
人口減少や金利など環境変化が予想され、厳しい経営環境に変わりはない
構造改革を推進し、持続的成長を続ける強靱な経営体質を構築する必要がある



■昨年を上回るベア・夏季手当について

「出せる出せない」ではなく、様々な要素を総合的に勘案し、慎重に判断する
営業利益はコロナ前の約8割に留まる。そのような要素も踏まえ慎重に判断する



私たちは過去最高の働き度の下、旅客増大や輸送障害・雪害等に対応し、安全・サービスを維持して好業績を達成しました。しかしそれに対する評価は「感謝」の言葉のみで、要求に対しては営業費増加等の「厳しい経営環境」を理由に「慎重に判断する」を繰り返し、「より一層の増収」や「構造改革」等さらなる努力を求める回答は、この間の職場の努力に報いる姿勢ではなく、許せるものではありません!



一方、世間相場に目を向けると・・・

※「日経ビジネス」及び日本経済新聞の報道を元に作成

イオンは、第3四半期決算が156億円の最終赤字の中、満額回答!!

イオングループ4社は2月25日、正社員5.34%、パート7%の賃上げ回答。
人事担当の副社長は「やせ我慢をしてでも上げていく」と語り、人件費は増加するが、それでも継続的な賃上げは不可欠だとしている。

サッポロビールは、一律15,000円ベア要求に対し、満額回答!!

ベアは過去最高額で定昇を合わせ6.4%の賃上げ。「物価高騰により社員の生活に影響が生じている経済環境、賃上げの必要性が高まる社会情勢を考慮」とコメント

他にも多くの企業で満額回答が相次ぐ!!



満額回答!
社員の生活・
経済環境を考慮

人材確保や将来の成長等の経営判断としても満額回答すべき!

職場の努力に寄り添わず、働く者に「やせ我慢」を強いる事は許さない!!
更なる組織強化・拡大で会社姿勢を打ち破り、満額回答を勝ち取ろう!!